

実践事例④ 税理士法人大石会計事務所(東京都国立市)

代表社員 税理士・大石豊司
1989年開業
スタッフ数21名

「中小企業のショールームでありたい」というのが大石会計の合言葉。
そのために地域清掃やボランティア活動、朝礼見学、地域イベントへの積極協力、
異業種交流会、論語教室などなど、書ききれないほどの活動を行っている。
そのショールームの「ご案内掲示板」の役割を果たすものが、事務所アルバム。
ありそうでなかった、このツールがお客様との距離を身近にし、会話を弾ませる材料になる。



目指すは「中小企業のショールーム」。
活動を見せる！ 事務所紹介アルバム

事務所アルバムは、面談室の机の上に置く。担当者をお待ちいただく間に見ていただくのがベスト。自己紹介カードの「マイブーム」や「チャームポイント」がカンパセション・ピースとなる。



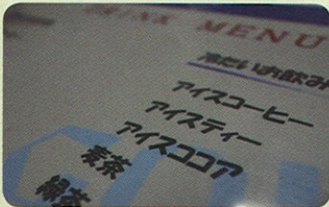
アルバムには、ほかに地域清掃やボランティア活動、主催セミナーの様子などを紹介するページがある。こうすることで自然な流れで、事務所の活動を紹介することができる。アルバムは全部で約30ページある。

ウェルカムボードと所員の皆様によるお出迎え。広い玄関の先に執務スペースが広がる。



事務所の活動は壁面掲示もしている。ただ、面談室にお通ししてしまうと目に触れない場合がある。それで生まれたのがアルバムだ。

接客・ココが自慢！
すべてが所員発信！



大石会計のドリンクメニュー表。

大石会計のさまざまな活動は、すべて所員発信というのが、同事務所の自慢。例えば、あるお客様がメニュー表にないアイスココアをオーダーしたところ、その翌日には、アイスココアがメニューに加わっていたというエピソードがある。だから、大石会計のメニューは豊富。事務所の強さを感じさせる話だ。アルバムも同じ。2年ほど前に、女性スタッフが思いつき、実践したものだ。

